

# 何かを成し遂げるには人生はとても短いもの やりたいことに挑戦して 後悔しない人生を送ってください

草場道輝

第九の波濤



令和五年  
一月二十七日

漫画家  
草場道輝さん

水産学部（1994年卒）

KUSABA Michiteru

草場先生は  
漫画家らしく  
イラストでの  
登場です！



## Profile

長崎県諫早市出身。1971年1月1日生まれ。長崎大学水産学部卒業。1993年と1994年に、週刊少年チャンピオン新人まんが賞奨励賞を受賞。1997年「少年サンデー超」増刊6月号『君と空のあいだで…』で漫画家デビュー。2017年から「週刊少年サンデー」で長崎大学水産学部を舞台にした漫画『第九の波濤』好評連載中！代表作に『ファンタジスタ』『LOST MAN』『ファンタジスタ ステラ』などがある。



最新刊  
22巻



## 漫画家になれたのは 幸運でした

村瀬／どのような大学生活をお過ごしでしたか？

草場／本当に普通でしたね。大して特別なこともなくて、授業も真面目に受けていたし、友達とも遊んだし。でもやっぱり、時間ができたら漫画を描いていましたね。

村瀬／漫画は学生の頃からお描きになっていたということですが、一度、長崎の会社に就職された後に漫画家に転身されたとのことでした。ここで漫画家の道に進もうと決めた時は、どのような思いでしたか？

草場／少しネガティブな話になってしまうのですが、就職した会社はあまり向いていなかったんです。それで、かねてから漫画家になりたいと思っていたので、チャレンジしようと上京しました。だけど、漫画家を目指す方が正直きつかったですね。それでも、好き



多文化社会学部1年

高田春歌

TAKADA Haruka

自分の興味を大切に挑戦し続ける  
草場さんの姿勢に感動しました！

だから続けられたと思います。

村瀬／上京して漫画家という新しい環境に身を置くことに対して、不安はありませんでしたか？

草場／そうですね、不安もありましたが、その時は希望の方が大きかったです。ただ、上京するからには期日を決めて、3年だけと両親に約束しました。ちょうど3年で何とかなったので、運が良かったと思います。

## 水産学部の人脈が 今に生きています

村瀬／今回の『第九の波濤』で、ご自身の出身である長崎大学水産学部を舞台として描くに至ったきっかけはありましたか？

草場／編集長と次の連載は何にしようか話をしていた時にふと学生時代の話になって、水産学部の思い出を楽しく語っていると「それ面白いんじゃない？」と言われて。海を舞台にした作品はいつか描きたいと思っていたので、ちょうどよい機会でした。

村瀬／草場さんはどうして水産学部を選ばれたのでしょうか？

草場／地元だったことですね。それに、乗船実習で海外に行けるというのも魅力でした。しかし、実際はきつかったですね。最初の数日は船酔いがひどく、炎天下での漁は体力的にも堪えませんでした。ただ、色々な魚を見ることができたのは面白かったです。

高田／釣りも趣味だと伺っていますが。

草場／そうですね。子どもの頃からよく行っていました。長崎県民は海との距離感が他の地域の

「好きを形」にされた草場さん。  
私も短い人生でたくさん形にしていきたいです！



教育学部3年

村瀬晴香

MURASE Haruka

人よりも近いと思います。「水平線の向こうには何があるのだろう」というような、海へのロマンも昔からありましたね。

高田／大学時代の経験で、今に生きていることはありますか？

草場／過酷な乗船実習や早朝訓練によって多少打たれ強くなったな、という部分はあります。また『第九の波濤』の監修を手掛けている水産学部の高谷智裕先生は同期ですし、執筆にあたり水産学部の先輩から人づてに取材先を探してもらったりもします。水産学部は実習等があるので「同じ釜の飯を食う仲間」といった感じで、縦と横のつながりが強いように思います。その人脈が今に生きています。

高田／大学時代の思い出の場所がありますか？

草場／水産学部の捕鯨砲ですかね。漫画にも描きましたが、早朝訓練では本当に池に飛び込んでいたんですよ。

## 長崎の魅力を 漫画から発信したい

高田／コロナ禍で長崎に拠点を移されたと伺っておりますが、草場さんが感じる長崎の魅力を教えてください。

草場／やはり自然が豊かなところ、そして歴史の面白さですね。遠いヨーロッパから様々な国の文化がミックスされながら東へと伝わって日本に最初に入ってきたのが長崎でした。そんなことに思いを馳せながら、出島付近なんかを歩くと、とても面白いと思います。漫画を描く中で長崎のそういう魅力を発信していけたらと思っています。『第九の波濤』でも長崎の全地域を描きたいという思いもあります。東京にいた頃と違って今はいつでも長崎県内を取材できますしね。

村瀬／今後やってみたいことは

ありますか。

草場／長崎に帰ってきたからには色々なことをやってみたいと思っています。シーカヤックを始めたり、アマチュア無線の免許も取得しました。取材先としては対馬や西九州の歴史にも興味があります。

村瀬／海だけでなく、興味の幅がとても幅広いですね！

草場／広く浅くのような気もしますが、後になって何かの拍子で「これ使えるな」という場面に出くわしたりもします。

## 後悔しない人生を 送ってください

高田／漫画家というお仕事は毎週締め切りがあってとても多忙なイメージがあります。草場さんはどのようにリフレッシュされていますか。

草場／ずっと椅子に座っている

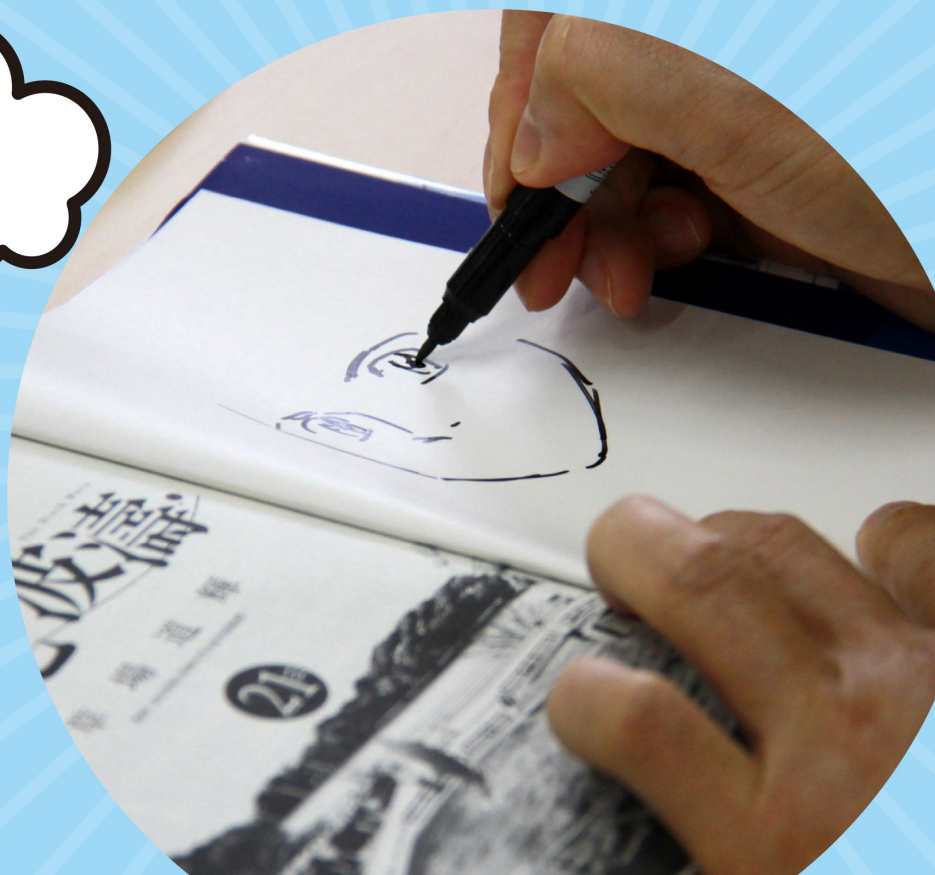
仕事なので、暇があれば外に出て散歩をしたり釣りに行ったりしています。漫画の執筆を始めた頃はネタが何も出てこず描けなくなる、でも締め切りは迫ってくる…という状況もありました。ある時「ずっと考えてこんでいても意味がない」と気づいて、そういう時は寝るようにしました。寝ている間に頭の中が整理されるのか、起きたらふとネタが出てくることがあります。

高田／最後に、卒業生へメッセージをお願いします。

草場／今の学生さんたちは僕らの時よりもしっかりされていると思うので、あまり言うことがない気がします。しいて言うなら「後悔しない人生を送ってください」。何もしなければ人生は長いですが、何かをするには人生はとても短いように感じます。

高田・村瀬／本日はお忙しい中、ありがとうございました！

「第九の波濤」を読むと長崎大学、そして長崎という場所への想いが深まるはず！ぜひ読んでみてください！



Who's Who Our University

## 長崎大学出身の先輩たち



**下村 脩** SHIMOMURA Osamu  
(1928～2018)

**2008年ノーベル化学賞受賞**

薬学部 (旧:長崎医科大学附属薬学専門部)

※掲載五十音順

### 企業TOP

#### 大日本コンサルタント

代表取締役会長  
**新井伸博**  
工学部



#### 上原成商事

代表取締役社長  
**上原晋作**  
経済学部



#### カネミツ

代表取締役社長  
**金光俊明**  
工学部



#### TOTO

代表取締役 会長  
兼 取締役会議長  
**喜多村 円**  
経済学部



#### TOTO

代表取締役  
社長執行役員  
**清田徳明**  
経済学部



#### 双日九州

代表取締役社長  
**香田篤志**  
経済学部



#### ヴィレッジヴァンガード コーポレーション

代表取締役社長  
**白川篤典**  
経済学部



#### 福岡中央銀行

代表取締役会長  
**古村至朗**  
経済学部



### 活躍中の 先輩たち

#### 秋野公造

医学部  
参議院議員

#### 草場道輝

水産学部  
『週刊少年サンデー』で連載中の長大水産学部を舞台にした漫画『第九の波濤』の作者

#### 国光あやの

医学部  
衆議院議員

#### 中村明俊

教育学部  
『聖水』で第124回芥川賞を受賞。ペンネームは青来有一

#### 福地茂雄

経済学部  
アサヒビール 社長・会長、  
日本放送協会 (NHK) 会長  
などを歴任

#### 藤原謙次

経済学部  
ローソン、ファンケル、カカオコム、サンドラッグなどにおいて重要ポストを歴任

#### 渡辺 航

教育学部  
『週刊少年チャンピオン』で連載中の漫画『弱虫ペダル』の作者